安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、
次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告（使用について）

■分解・改造しない

分解禁止

感電や故障の原因となります。

●内部の点検や修理などは販売店へご依頼ください。

■水などをかけない

禁　止

発熱や火災の原因となります。

■異物を入れない

禁　止

通風孔などから、金属類や紙類を入れると火災や感電の原因となります。

■指定以外の別売機器や互換性のない機器は接続しない

禁　止

火災や感電、故障の原因となります。

■雷のときは電源コードにさわらない

禁　止

雷によっては感電の原因となります。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

禁　止

たこ足配線等で、定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁　止

傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

⚠警告（使用について）

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■急に大きな音が出るので、スピーカーに耳を近づけて使用しない

聴覚障害等を起こす原因となります。

禁　止

⚠警告（設置について）

■電源（AC100V）を入れたまま工事配線をしない

感電や故障の原因となります。

禁　止

●電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

■電源電圧（AC100V）直結端子のところに指定以外の電圧（例AC200V）を接続しない

指定以外の電圧や電源で使用すると火災や感電、故障の原因となります。

禁　止

●電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

■指定以外の端子に電源（AC100V）を接続しない

ショートして火災や感電、故障の原因となります。

禁　止

■チャイム線など既設の配線を利用する場合は、AC100Vが通電されていないことを確認する

そのまま使用すると、感電、破損の原因となります。

●販売店に相談してください。

■雷のときは工事配線をしない

雷によっては火災や感電、故障の原因となります。

禁　止

■壁取付時、質量に耐える指定の方法で取り付ける

ゆるみやはずれで落下し、事故の原因となります。

■AC100V電源直結工事・移動工事の際は、お買い上げの販売店に相談する

電気工事士の資格が必要です。

⚠注意（設置について）

■水や薬品のかかる場所、湿気やホコリの多いところに置かない

火災や感電、故障の原因となります。

禁　止

■土中埋設配線する場合は、保護管を使用する

絶縁劣化により、感電や故障の原因となります。

■土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない

絶縁劣化により、感電や故障の原因となります。

禁　止

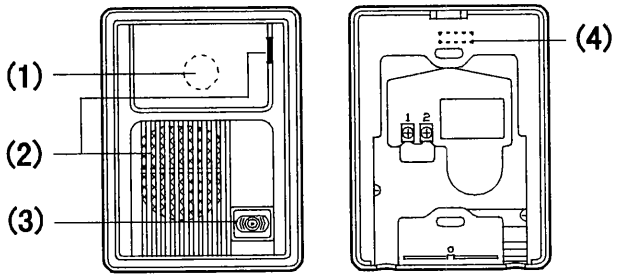
TOSHIBA　東芝インターホン
テレビドアホン取扱説明書

対象機種		
	親子セット	ＨＴＶ５０００ＭＤ （ＨＴＶ５０００ＭとＨＴＶ５０００Ｄのセット）
	親　　機	ＨＴＶ５０００Ｍ
	子　　機	ＨＴＶ５０００Ｄ

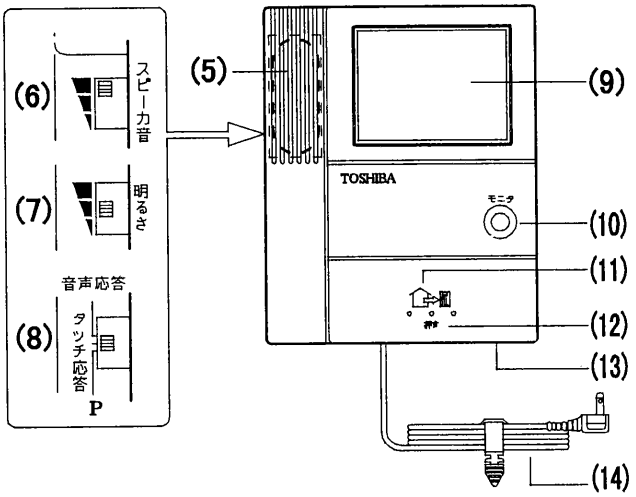
このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのインターホンを正しくご使用していただくために、ご使用の前に「取扱説明書」と「安全上のご注意」および「製品への表示」をよくお読みください。　なお、お読みになったあとは必ず保管してください。

各部のなまえとはたらき

子機ＨＴＶ５０００Ｄ



親機ＨＴＶ５０００Ｍ



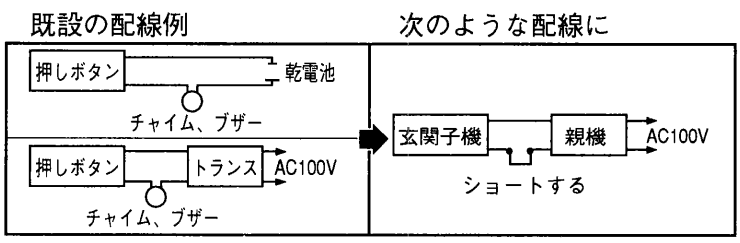
(1)カメラ部
　呼出ボタンを押すと、訪問者の姿を映し出します。
(2)スピーカ／マイク
(3)呼出ボタン
　このボタンを押すと親機から呼出音（チャイム音）が鳴ります。押しつづけて話すと「ただいまコール」機能が働きます。
(4)カメラ角度調節レバー
　子機のカメラ角度を約１４°上方向に調節でき、カメラの撮影範囲を変えることができます。
(5)スピーカ
(6)スピーカ音量調節つまみ
　呼出音・外の様子の確認音を調節できます。
(7)明るさ調節つまみ
　モニター画面の明るさを調節できます。
(8)応答切替つまみ
　通話の応答方式を切替できます。
(9)モニター画面
(10)モニターボタン
　子機周辺の様子を室内から見たいとき、このボタンを押すと映像と子機周辺の音が聞こえます。映像は、約３０秒間映り、途中でモニターを消す場合には、もう一度、このボタンを押します。
(11)送話ランプ
　親機から子機への通話状態の時、ランプが点灯します。
(12)応答ボタン
　通話を開始する時にこのボタンを押します。
(13)マイク
(14)電源コード

工事店様へ	工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

特にご注意を

●親機、子機間の配線は雷や他の機器の電線からの誘導電圧により機器破壊・誤動作・雑音混入・画質劣化をさける為、屋外架空配線やＡＣ１００Ｖ等の電力線及び電話機、その他機器の電線との並行配線はおやめください。

●既設の配線を利用する場合は以下のことに、ご注意願います。



●既存のチャイム、ベル、ブザーの配線を利用してテレビドアホンに切り替える場合、電池式のチャイム・ベル・ブザー以外は**配線にAC100Vが流れている場合がありますので**、これを取り除いて配線材の線種（φ0.65mmまたはφ0.8mm）を確認後、接続してください。

＊誤って、親機、子機間の配線にＡＣ１００Ｖが加わると親機、子機共に修理不可能な破損が発生します。

●本体は分解しないでください。内部に高電圧回路部があり、非常に危険です。電源をはずしても、内部の電気回路に高電圧が残留している事がありますので、絶対に分解しないでください。

●電源は必ず家庭用のＡＣ１００Ｖのコンセント、または屋内配線に接続してください。その他の動力用やインバータ式などの電源に接続しますと、破壊・雑音混入・画像乱れが発生する事があります。

●本製品は電気設備技術基準２０４条による施工を行ってください。
- 使用する埋込みボックス（電源線と親機、子機間配線の間）に、堅牢な隔壁を設ける。
- 金属ボックスを使用する場合はＤ種接地を行う。
- 線材は６００Ｖ以上の絶縁電線を使用する。

●ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に親機、子機間の配線を通して工事を行ってください。金属管は必ず大地アースしてください。

●ＡＣ１００Ｖ以上の電力線（電灯線）とは、１ｍ以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行ってください。

●既存または新設の子機配線等の平行２線ケーブルを接続する場合には、接続工事の前に必ず大地アースと既存配線間との絶縁抵抗、既存配線２線間の絶縁抵抗、および既存配線の線路抵抗値（直流ループ抵抗）を測定の上、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事をしてください。

絶縁抵抗値	DC500Vにて1MΩ以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗10Ω以内

●ねじ端子を締めつけすぎない（８０Ｎ・ｃｍ＝８．２ｋｇｆ・ｃｍ程度以下）でください。端子部破壊の原因となります。

●誤配線、ショート等がないことを確認後、親機の電源を入れてください。

●本体を落下させないでください。モニター等にガラスを使用した部品があり割れたり、その他回路不良が発生する事があります。

●本製品は当社の他の白黒テレビドアホン／カラーテレビドアホンの親機、子機と互換性はありません。

●放送局などの送信アンテナの近くでは、電波が混入し映像が乱れたり、音声が混入する場合があります。

●電子レンジやテレビなど、強い電磁波が出る近くで使用すると、映像が乱れる場合があります。このような機器からは、２ｍ以上離して設置してください。

■親機は次の場所には取り付けないでください。

●電気・ガス・石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。　●直射日光のあたる場所。
●製氷倉庫など０℃以下になる場所。　●風呂場など特に湿気の高い場所。
●有害ガスやほこりが特に多い場所。　●水や薬品がかかるおそれがある場所。

■子機を取り付ける際、取付面との防水性を確保する為、子機の上・側面の取付枠と取付面をコーキングしてください。尚、子機の地面側（下面側）はコーキングしないでください。

内部に入った水を外部に流出させるための水抜き穴がふさがり故障の原因になります。

■子機は防雨形（ＪＩＳ　Ｃ　０９２０　保護等級３）です。直接ホースなどで水をかけないでください。

直接水をかけますと故障の原因になります。

知っておいていただきたいこと

●親機は、子機から５ｍ以上離して設置してください。また、反響の多い場所への設置は避けてください。通話不良の原因になります。

●本製品はインターホン用途として設計されていますので、監視カメラ等の様に連続使用する事はできません。

●子機の周囲の気温差によって子機レンズ部が結露し、親機の映りが悪くなる事があります。結露がなくなれば回復します。

●照明用赤外発光ダイオードの光の照射範囲は、カメラの撮像範囲よりも狭いため、周囲が暗くなると昼間よりも映る範囲が狭くなります。

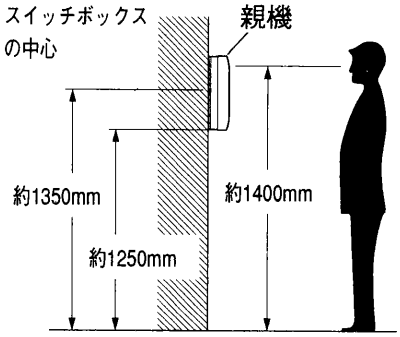
●親機のマイク部から２０ｃｍ以内に物を置かないでください。また、ペットの鳴き声やテレビ等の騒音の大きい場所では使用しないでください。通話が途切れたり、誤動作する原因となります。

取り付けかた

■親機の取り付け位置について

親機の設置高さは、モニター部の中心がご使用になる方の目の高さに設置ください。

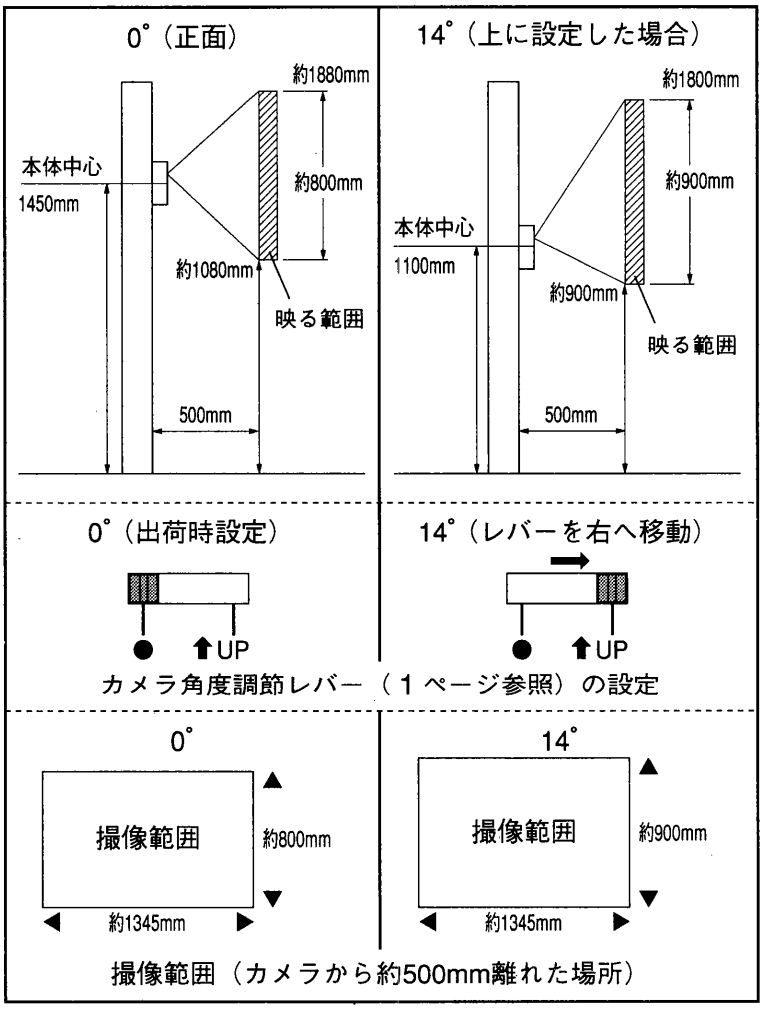
（例）モニター画面の中心が床面から約１４００ｍｍにくるように設置した場合

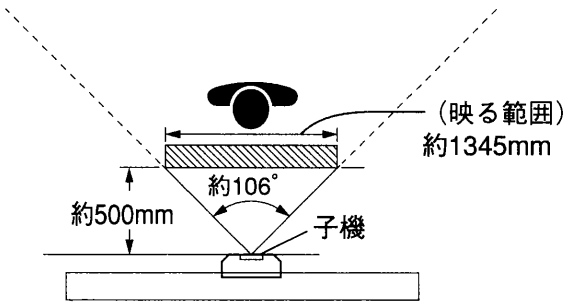


■子機の取り付け位置と映る範囲について

子機は、設置される位置（取り付け高さ）によって、映る範囲が異なります。下図を参考に設置ください。

（例）子機本体の中心が床面から約１４５０ｍｍにくるように設置した場合、または、それよりも低い位置（子機本体の中心が床面から約１１００ｍｍ）に設置する場合は、カメラ角度調節レバーを移動して、映る範囲を調節することができます。

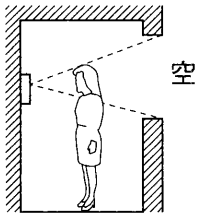




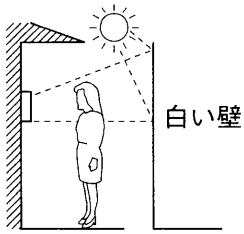
お願い

- ●カメラに直射日光（太陽）をあてないでください。
- ●逆光の場合、訪問者の顔が暗く識別しにくくなることがあります。下図のような場所への設置は避けてください。

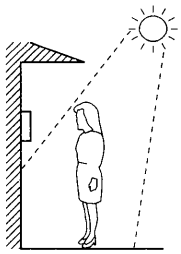
背景に空の占める割合の大きい、マンションなどの階上にある玄関



正面に、直射日光が反射する白壁がある玄関

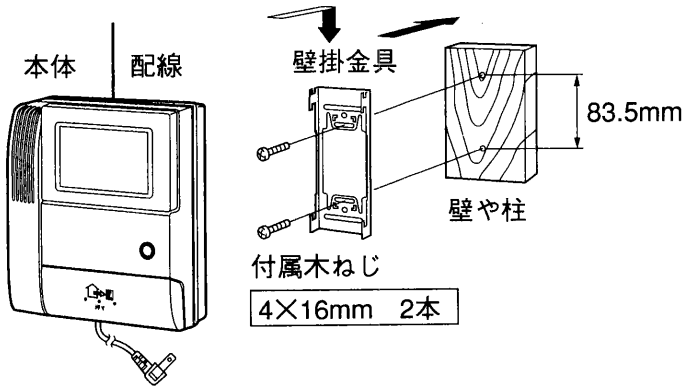


明るい南向きの玄関

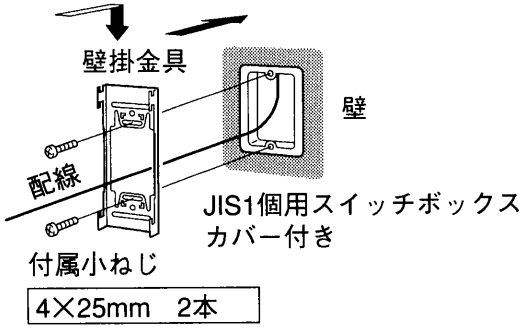


■親機の取り付けかた

≪壁や柱に直接取り付ける場合≫



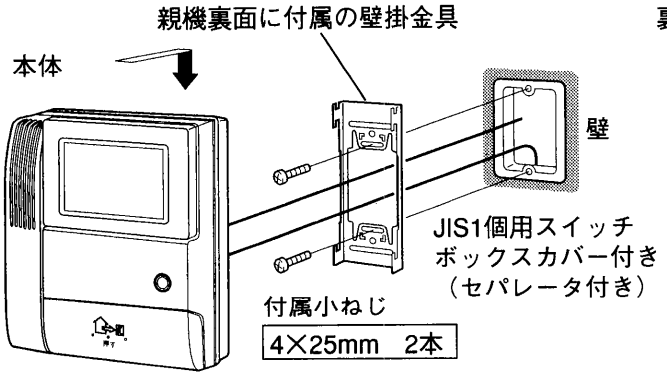
≪スイッチボックスを使用する場合≫



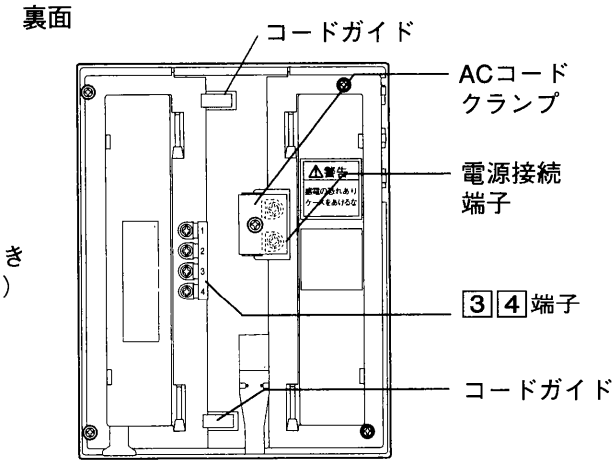
1．本体裏面に付いている壁掛金具をはずします。
2．壁掛金具を付属のねじでＪＩＳ１個用スイッチボックス、または壁面に取り付けます。
3．子機との配線を本体裏面の（3）（4）端子に接続します。
4．本体を壁掛金具に引っ掛け、下に押し込みます。
5．電源プラグをコンセントに差込みます。

■電源線を親機に直結するとき

（この工事は電気工事士の資格が必要です。資格を持たない人が工事をする事は．法律で禁止されています。）



●JIS1個用スイッチボックス(カバー付き)を使用しない場合（柱など）➡ 付属木ねじ4×16mm：2本



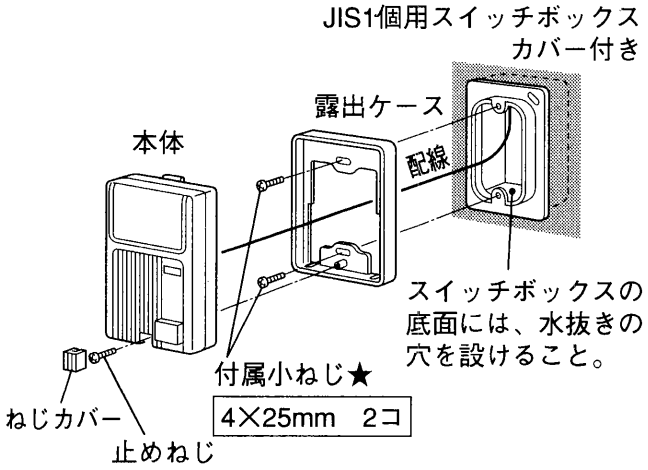
●電源線（ＡＣ１００Ｖ）と子機との配線を同一ボックスに入線する場合、スイッチボックスはセパレータ付きを必ず使用し、電源線と配線が混触しないようにしてください。
●電源線は本体裏面にあるＡＣコードクランプを取り外し、電源コードを取り外してから電源端子に接続してください。最後に必ずＡＣコードクランプを元の状態に取り付けてください。

■電源線を接続する場合は以下内容にご注意ください。（火災、感電の原因となります。）

●電源線はΦ１．０～Φ２．０ｍｍ単芯銅線を使用してください。
●電源を入れたまま工事をしないでください。
●電源端子以外の端子に電源線を接続しないでください。

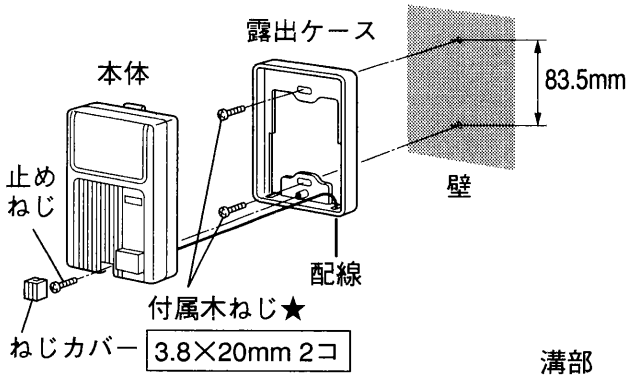
■子機の取り付けかた

≪スイッチボックスを使用する場合≫



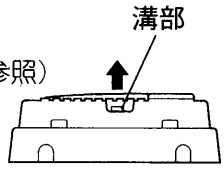
★印のねじは最後までしっかりと固定してください。

≪壁や柱に直接取り付ける場合≫



ねじカバーのはずし方（右図参照）

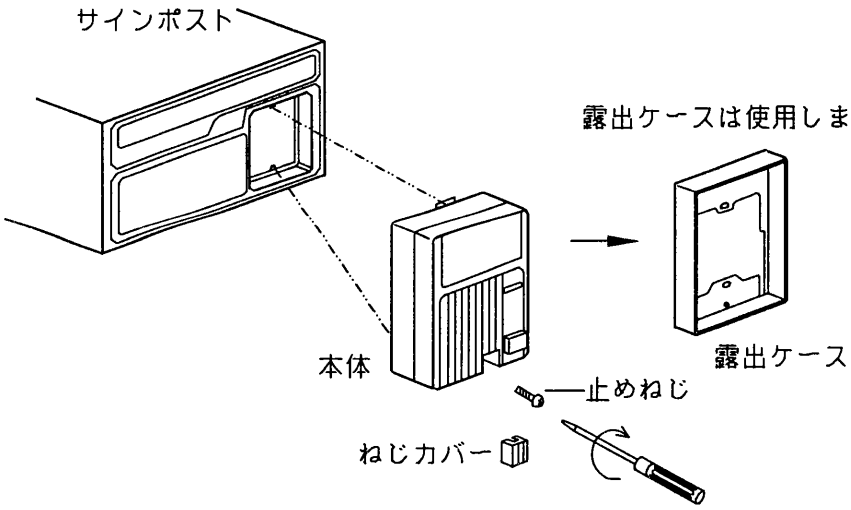
本体の底面より㊀ドライバーを本体溝部に挿入し、矢印方向に押し上げ、ねじカバーをはずす。



1．本体のねじカバーをはずし、止めねじをゆるめて本体から露出ケースをはずします。
2．露出ケースを付属のねじでＪＩＳ１個用スイッチボックス、または壁面に取り付けます。
3．親機との配線を本体裏面の端子に接続します。
4．本体を露出ケースにはめ込み、止めねじで固定し、ねじカバーを元の状態に取り付けます。

■サインポストへの取り付けかた

サインポスト
松下電工（株）製
ＳＰ型／ＳＳ型／ＧＳ型
に適合



1．子機のねじカバーをはずし、止めねじをゆるめて、本体から露出ケースをはずします。
2．配線後、本体をサインポストにはめ込み、本体の止めねじで固定し、ねじカバーを元の状態に取り付けます。

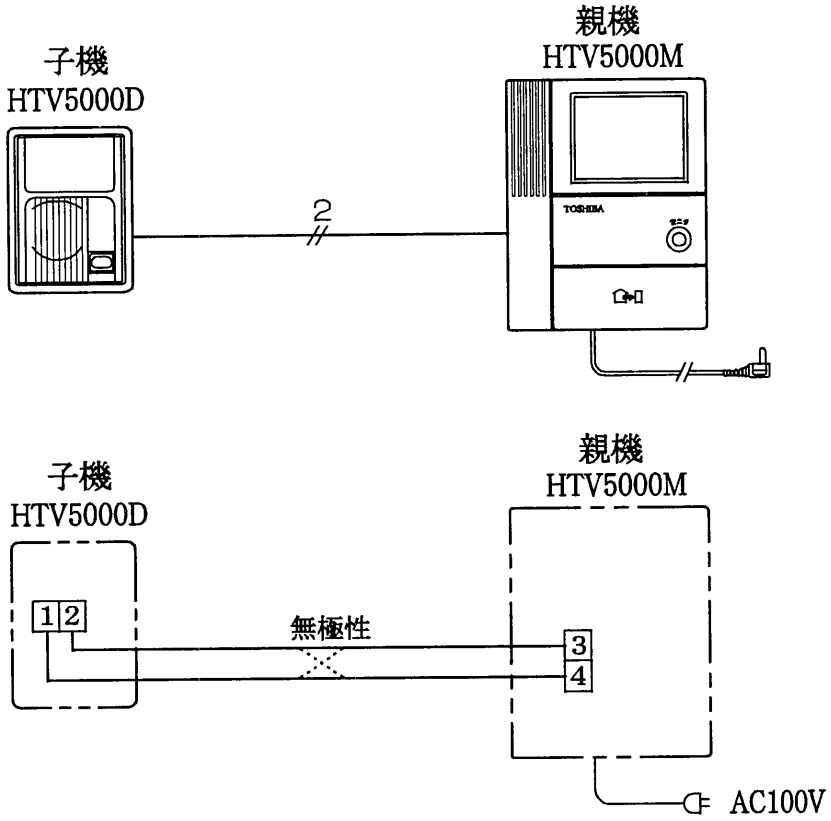
ご注意

●サインポストの蛍光灯回路（ＡＣ１００Ｖ）とは、別々のケーブルを使用し、別々に配管してください。

接続のしかた

●配線は、平行２芯ケーブルを使用することで良好な画像が得られます。また、途中で他の種類のケーブルと接続、分岐、平行の２芯を１本ずつ引き離したりしますと、画像が乱れたり、画質が悪くなる場合があります。同軸ケーブルは使用できません。

■接続図



■通達距離

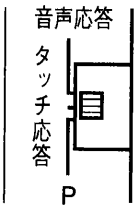
親機ー子機間

距離（m）		100
線　種	インターホン用平行2線式ケーブル	
	より線（mm/本）	0.18/12または0.18/20
	単芯線（mm）	0.65または0.8

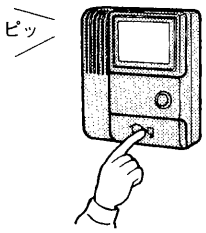
使いかた

■はじめに、応答方法を選びます。
3つの応答方法から、お好みの応答方法を選び、応答切替つまみを切り換えてください。

応答切換つまみ

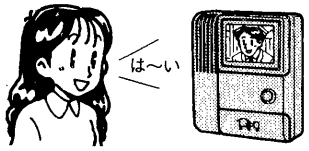


■タッチ応答
➡応答切換つまみを「タッチ応答」側に（出荷時設定）



応答ボタンを押して応答します。

■音声応答
➡応答切換つまみを「音声応答」側に



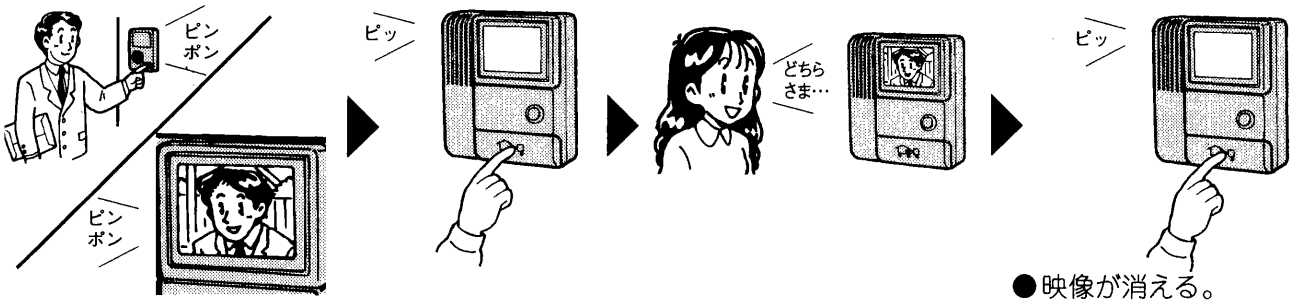
声で応答します。
※応答ボタンを押しても応答できます。

■プレストーク応答
➡応答切換つまみを「P」側に

周囲環境により、スムーズな通話ができない場合にご利用ください。

■タッチ応答（応答切替つまみを「タッチ応答」側に）

玄関子機の呼出ボタンが押されたら　応答ボタンを押す　通話する　通話が終わったら応答ボタンを押す



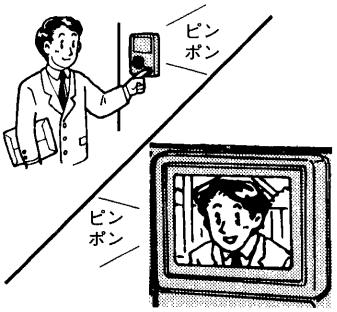
●モニター画面に約30秒間映像が映る。

●映像が消える。
※ボタンを押さなくても約1分間で自動的に通話が切れます。（この間、室内の音が外にもれる場合があります）

※呼出音が聞こえてから約30秒間応答しないと、映像は消えます。応答ボタンを押すと再度映像が映り、通話できます。

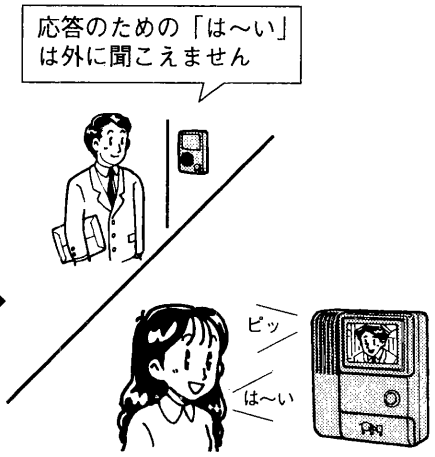
■音声応答（応答切換つまみを「音声応答」側に）

玄関子機の呼出ボタンが押されたら



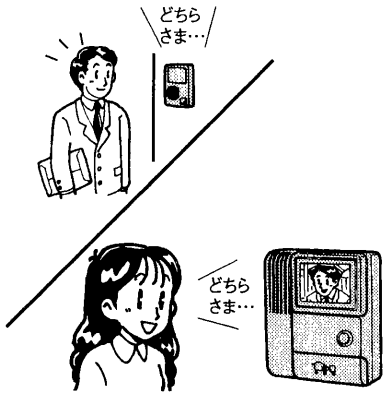
●モニター画面に約30秒間映像が映る。

呼出音が終わり、モニター画面に映像が映っている間に、「は～い」と呼びかける



「は～い」と少しのばしてください（約0.5秒）

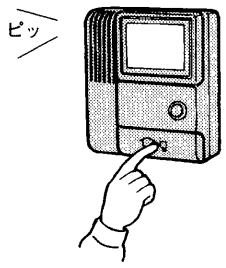
通話する



お知らせ

●通話は約1分間で自動的に切れます。再度通話するときは応答ボタンを押してください。

通話が終わったら応答ボタンを押す



●映像が消える。
※ボタンを押さなくても約1分間で自動的に通話が切れます。（この間、室内の音が外にもれる場合があります）

ワンポイントアドバイス

■うまく応答できないとき

①呼出音（ピンポン）が鳴り終わってから、「は～い」と言ってください。
②送話ランプが点灯するくらい大きな声で、「は～い」と少しのばして言ってください。

■こんなことも

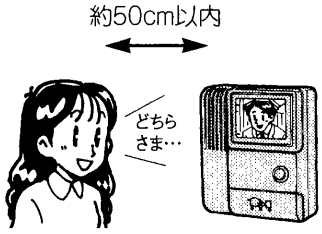
応答ボタンを押して応答することもできます。

お知らせ

●周囲の音（ペットの鳴き声や、テレビ等）が大きいと、呼び出し時に応答してしまう場合があります。

通話中のワンポイントアドバイス

■相手の話が終わらないうちに話すと、声が途切れることがありますので、
相手の話が終わってから話してください。
■話すときは、送話ランプが点灯する距離（親機から50cm以内）に
近づいて話してください。



送話ランプが
点灯するように
約50cm以内に
近づいて

■親機・玄関子機のまわりの音が大きいときは、
通話が途切れる場合があります。

⚠ 注意

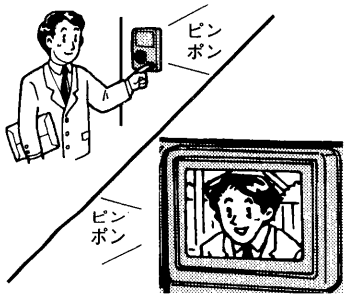
**急に大きな音が出るので、
スピーカーに耳を近づけて
使用しない**

●聴覚障害等を起こす原因となります。

■プレストーク応答（応答切替つまみを「P」側に）

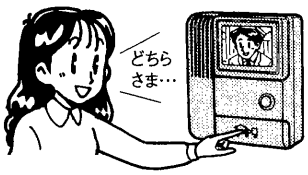
応答ボタンを押している間だけ、玄関子機側に音がでます。
玄関子機が騒音の大きい場所（幹線道路沿いなど）に設置されている場合、音声応答、タッチ応答で、スムーズな通話ができないときに利用してください。

玄関子機の呼出ボタンが押されたら



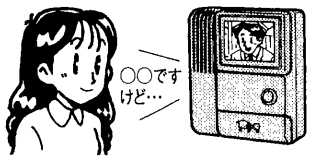
●モニター画面に約30秒間映像が映る。

応答ボタンを押しながら応答する



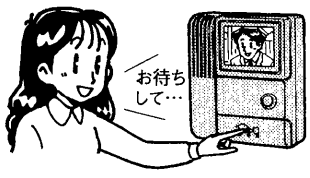
●確認音「ピッ」が聞こえ、送話ランプが点灯

相手の声を聞くときは応答ボタンから手を離す



●送話ランプが消える

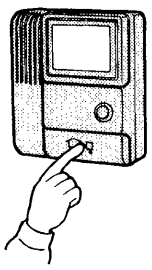
話すときは、応答ボタンを押しながら、話す



●送話ランプが点灯

通話が終わったら

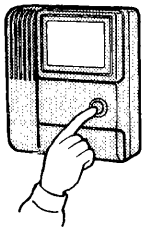
●最後に応答ボタンを押してから、約30秒後に自動的に通話が切れます。



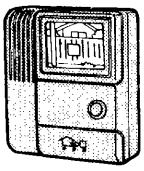
応答ボタンを押しても
通話は切れません。

■外の様子を見たいとき

モニターボタンを押す

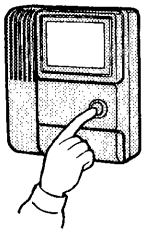


約2秒後、モニター画面に映像が映る



- 映像と周囲の音が聞こえる（室内の音はもれません）
- ボタンを押して何もしないと、約30秒後に映像と音が消えます。
- 外の様子を確認中に来客が呼出ボタンを押すと、呼出音は聞こえません。

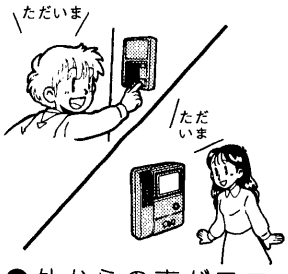
モニターボタンを押す



- 映像と音が消える。

■家族が帰ったことを知らせるには（ただいまコール）

玄関子機の呼出ボタンを約3秒以上押しつづけながら話す



- 外からの声がモニター親機のスピーカーから聞こえる（映像も映る）

呼出ボタンを押すのをやめるとただいまコールは終了する

ワンポイント

- 押すと同時に話し始めると、話の最初がとぎれます。
- モニター親機側で音声応答することはできません。

修理サービス

アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センター（０１２０－１０４８－４１：フリーダイヤル）にお問い合わせください。
その際は製品の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

修理を依頼される前に、次の点についてもう一度お調べください。

■呼び出しも通話もできないとき

●親機の電源プラグが抜けていませんか。
●親機や子機の配線が端子からはずれていませんか。

■映像が不鮮明なとき

●親機の明るさ調節がずれていませんか。
●カメラ前面、モニター表面が汚れていませんか。

お手入れのしかた

●本体はやわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
●本体をいためますので、シンナー、アルコールなどの薬品や化学ぞうきんでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
特にカメラ部やモニター画面の透明樹脂部は薬品に侵されて曇りが発生する場合がありますのでご注意ください。

仕様

●通話方式　自動交互通話式

●電　　源　ＡＣ１００Ｖ５０／６０Ｈｚ

●消費電力　待受時　約２Ｗ、最大時　約１３Ｗ

●呼出信号　電子チャイム音（音量３段切換）

●配　　線　親機～子機間　　２線無極性

●使用温度範囲　親　機　　０℃～＋４０℃
　　子　機　－１０℃～＋５０℃

●設置場所　　親　機　屋内専用（壁掛形）
　　子　機　屋内、屋外兼用（防雨形）

●外観色調　　親　機　ホワイト
　　４．１Ｙ８．３／０．７
　　（マンセル近似値）
　　子　機　ブラウン
　　１０ＹＲ２．０／１．０
　　（マンセル近似値）

●寸　　法　　親　機　幅155×縦195×奥行58
（ｍｍ）　　子　機　幅 99×縦131×奥行32

●質　　量　　親　機　約１２００ｇ
　　子　機　約　２５０ｇ

●外観材質　　親　機　ＡＢＳ樹脂、アクリル樹脂
　　子　機　ＡＢＳ樹脂、アクリル樹脂

●画　　面　　４インチ偏平ブラウン管
（親　機）　映像タイマー
　　呼出、モニター時　　約３０秒
　　ハンズフリー通話時　　約６０秒
　　プレストーク通話時　　約３０秒

●カ メ ラ　　固体撮像素子
（子　機）　広角レンズ　固定マウント

●付 属 品　　取扱説明書（安全上のご注意）
　　壁掛金具（親機本体に付属）
　　小ねじ　Ｍ４×２４　　４本
　　木ねじ　φ３．８×２０　２本
　　φ４×１６　　２本

東芝ライテック株式会社　住宅機器事業部　〒１４０-８６６０ 東京都品川区南品川２－２－１３ 南品川ＪＮビル

（２２００１）Ａ